



ふるさと会活動ご報告

会長 (高松市観光大使)
池田 克彦

仲秋の時期となりましたが如何お過ごしでしょうか。今年の夏は冷夏気味で台風も例年比多くやや大型です。さて平素からふるさと会へのご支援誠に有難う御座います。前号に続き町便りと活動報告をさせていただきます。

1. 香川県情報誌 夏号に“光りあふれる香川の夏”で徳島県の県境讃岐山脈の「大滝山」「大麻山」「高鉢山」の山遊び紹介と「塩江温泉：竜王山：行基の湯：奥の湯温泉」とそば打ち・竹細工の体験、内場池湖畔の滞在型宿泊施設による農業・陶芸などの体験紹介がされました。

2. 会の活動

1) 4月10日～12日首都圏・関西圏から約100名、塩江・内場池湖畔の体験型施設セカンドステージに“モニターツアー”（訪問・施設体験）を実施しました。

2) 4月25日都内市谷グランドヒルでの東京・別海ふるさと会総会に参加しました。

3) 7月25日サッポロビール千葉工場での根室：別海ふるさと納涼会に参加しました。

4) 9月5日～6日首都圏・九州から18名、セカンドステージに“稲刈り・びわ（琵琶）灸ツアー”を実施しました。

5) 9月26日横浜市こどもの国での根室：別海ふるさと会秋刀魚祭りに参加しました。

特集 ふるさとを訪ねて

会長 池田克彦

この9月に四国新聞にも取り上げられましたが、4月のセカンドステージモニターツアーに引き続き、首都圏からふるさと塩江に稲刈りとびわ灸ツアーで訪ねました。これは年度計画の実行でしたが、大都会に住んでいる人が稲刈りを体験する事は、米食を基本にしている日本人として感慨深いものがある様な気がします。今回注目したのは「びわ灸」でした。小生、慢性の肩凝りがひどく、あれこれ手を尽くしましたが時間がない事もあり、有効な施術をみつける事ができず困っておりましたところ、会員から、都内杉並の無憂扇豊海の「びわ灸」の施術と普及活動をされている武藤先生を紹介受けました。当初は失礼ながら情報があまりない事から胡散臭い感じを持っていましたが、数回足を運ぶにつれ本物として認識する様になりました。びわの粉を40度より少し高い温度に温めて患部にあてて揉む事の繰り返し施術する方法で

す。琵琶の葉と粉の効能は高く、医学論文にも発表され、この治療法はお釈迦様の時代まで遡ると聞いております。この「びわ：琵琶」をふるさと塩江に根付かせ、町の振興に少しでも役にたてればとの思いです。琵琶を栽培し粉を販売する、或いは、滞在施設で農業・林業・観光の体験を行い温泉とびわ灸がコラボした「安らぎと癒しの里」作りが出来ればと思います。その様次第で、首都圏から参加頂いた方々とセカンドステージの関係者及び、びわ灸の無憂扇豊海の武藤先生・萬田先生・阿部先生には厚く御礼を申し上げます。今後は更なるびわ灸の普及で、無憂扇豊海の諸先生方のご指導を頂き、ふるさと塩江に「安らぎと癒しの里」の実現に微力を尽くす事が出来ればと思います。

塩江の古民具

高松市塩江支所
吉廣 保夫

「ふるさと 稲刈りと琵琶灸体験ツアー」にご参加されました皆様、琵琶灸パワーで益々元気にお過ごしのことと推察いたします。また、皆様がお越しの頃は9月の初旬でしたので、山里の塩江とは言え、残暑の厳しい折でした。手作業での稲刈りはさぞ大変であったかと思えます。昔の田植えや稲刈りは、機械が発達していなかつたため、手作業で、隣近所や親戚の人たちが、協力し合って行っていました。腰を曲げての作業でしたので大変であったと思えます。私の家では、もう四十年前にも稲作を止めてしまいましたので、その苦労は余り知らずに過ごしましたが、田植え用のジョウギはまだ納屋に眠っております。

塩江地区コミュニティ協議会では、今年度から古民具の収集を行っており、町内の方から無償で提供をいただいております。農耕用具では、牛の餌やりに使ったカイバキリや牛に引かせたウシंगा、縄を編む縄ナイキ。炊事用具では、歯釜や茶釜、家族の一人一人に有った箱膳など懐かしい民具が集まっており、現在整理をしている最中です。提供していただいた古民具は、統合で使用されなくなった旧保育所に展示し、公開する予定です。皆様も塩江に来られました折には是非お立寄りください。

(香川県高松市塩江町在住)

稲刈り・びわ灸ツアー

ふるさと会 理事
沢田 登美恵

9月5日～6日 1泊2日の稲刈

り・びわ灸の体験ツアー、初日は稲刈りです。セカンドステージに着き昼食を済ませてバスに乗り、大分離れた場所、山の中でしたが稲穂が美しい田んぼへ移動。農家の藤沢さんが色々手順と方法を細かく説明してくれました。



参加者

私は初めての事なので不安でした。どこからか、サックザックといい音が聞こえて、その主は望月さんでした。子供の頃家の手伝いをしていたそうです。刈った稲を束にその束ねるのがむずかしい。藤沢さんにお聞きしましたら、力が入らん時は稲を回すんじゃ！！と云われ、そのとおりましたら“成功”。竹ざおに干し自然に乾かす方法、子供の頃どこかの田んぼで見ました。稲刈りからセカンドステージに戻り、今度は野菜取り、暑い日が続いた為、野菜は少々かたかった。トマトは最高に美味しい味でした。夕食のバーベキューも楽しく心に残る事と思います。2日は「びわ灸」どんな事だろうと心配と不安でした。心配していた通りメチャメチャ熱くて痛くてどうしよう。30分位たつて終わった。「びわ灸」をした後、足で押しもみかな？と置いていたのですが、とても楽になり足も軽く、私は坐骨神経痛ですが、驚くほど軽くなりました。次の日も予約して「びわ灸」をして貰いました。望月さん達と一緒に東京へ帰ったらお灸をして貰いに行く約束をしました。私にとって「びわ灸」は強烈な体験でした。

(埼玉県所沢市在住)

びわ灸ツアーについて

無憂扇 豊海
代表
武藤 つや子

窓を開けると吸い込まれそうな青い空と湖、思わず飛び出して行きそうな錯覚に落ちいりました。塩江セカンドステージホテルから目にした印象です。今回、池田会長よりのお誘いをうけ、初めて四国で「びわ灸」の体験会をさせて頂きました。おきゅうと聞かれると恐がる方がいらっしゃいますが、「無憂扇きゅう」は、体験なさと必ず「気持ちが良い」と言われます。今回、塩江へお伺いした目的は、「無憂扇きゅう」を是非、塩江町の町おこしのひとつに取り入れて頂けたらと言

う想いがあったからです。



「人を助けて、わが身を助かる」という信念で私達は「無憂扇きゅう」に取り組んでいます。ある時、一人の女性が不治の病に罹りましたが、友人二人は彼女をなんとか治したくて、必死で「びわ灸」をあてておられます。又、ある男の人は、奥様が癌になられ西洋医学にも限界を感じられて、今毎日懸命に「びわ灸」をあてておられます。どのケースも人が人を助ける行いの尊さ、素晴らしさを教えて下さいます。これ程美しい事があるのでしょうか。これから日本は、世界一の長寿国となります。お年寄りの多い町で、「びわ灸」をお互いが助け合う道具として普及させて頂く事ができたならば、医療費の削減のみならず、素晴らしい人と人とのつながりができて、きっとその町は、天国となるに違いありません。私達は今、それをめざして頑張っているのです。(東京都杉並区在住)

“しおのえ” 稲刈りとびわ灸体験ツアーに参加して



東京・別海ふるさと会 理事
滑川 静子

今年4月に体験施設セカンドステージに2泊3日の日程で旅をし、その3ヶ月後の7月に池田会長さんから「稲刈り」体験ツアーの誘いを受けました。誘いを受けた時、即あれを買いに行こうと決心。あれと言うのは「天ぷら」です。4月に行った時、崎川さんに勧められ買って来た「天ぷら」がコツコツと歯ごたえがあって絶品でした。再びあの味を楽しむためツアーに参加！9月5日(土)羽田空港を9時45分発の飛行機で高松へ。出迎えのバスでセカンドステージに到着しました。早速作業服に着替えて、稲刈りする田んぼへ移動。

高松空港での気温は30度だったのですが、山脈に囲まれた「田んぼ」は爽やかな風が吹いて心地良く、これから行う初体験の稲刈りにやる気満々の気分になりました。



稲刈り

そして稲刈りの仕方を教わり、作業を始めてまもなく竹の皮に包まれた特大のおにぎりが3個配られました。最初見た時、3個分食べれないと思いましたが、美味しく自分も周囲の人も皆ペロリと平らげてしまいました。

稲刈り作業は、稲の束ね方を教わり「はぜ」に掛けて無事終了。野菜の収穫に移動しました。ミニトマト、茄子、人参、キュウリ、オクラなど馴染みの野菜が沢山あって、いずれも育ちすぎて堅かったのですが、収穫する事に喜びを感じて沢山とってしまいました。とりあえず焼いたものの堅くて全然食べられず、準備してくれた男性軍の茶目気に笑ってしまいました。



パーベキュー

夜は琵琶の葉を使ったお灸の体験。気持ちよく眠気をもよおして、施術中に停電になった事も知らず眠ってしまいました。翌6日は「山菜おこわ」を作りました。その後藤川牧場に行って牛乳豆腐を食べ、いよいよ2泊3日の体験ツアーも終わりに近づいてきました。バスで飛行場に向かう途中スーパーマルヨシに寄って念願の「天ぷら」無事購入。帰省の途につきました。今回は友人6人で参加し、うち3人は初参加でした。全員が楽しんで貴重な体験を重ね暖かい心を感じられる旅でした。(東京都中野区在住)



ふるさと会 会員
徳島 明

今年の2月に、旧知の横浜蕎麦打ちクラブの山本氏より4月になったら、高松に行かないかと誘いを受けました。今まで、四国に行った経験がなく「讃岐うどん」「本四架橋」程度の理解しかありませんでしたので即座にOKしました。2泊3日の塩江での体験はとても楽しかったです。初めてお会いする方と楽しく飲んだり、話をする事が出来た事が何よりの収穫でした。それと、本場の「讃岐うどん」を十分に堪能でき、すっかり「讃岐うどん」の大ファンになりました。塩江に日本の原風景をみた感じです。

さて4月に引き続いて9月は、2回目の塩江となりました。1週間後手術を控えていたので、大事をとって稲刈り・びわ灸に参加しませんが、今回も帰路、高松空港に向かう途中で、「讃岐うどん」を食べられただけでも大満足しました。次回、何時、高松に行けるかわかりませんが、時間の許す限り又、参加して皆さん方と更にふれあいができる事を願っています。このような「塩江体験」を企画、運営いただいた方々に深く感謝する次第です。ありがとう御座いました。(神奈川県相模原市在住)

稲刈り・びわ灸ツアーに参加して



ふるさと会 会員
望月 澄子

私は9月5日～6日1泊2日の稲刈り・びわ灸ツアーに友人2人とともに参加させて頂きました。前回4月のセカンドステージモニターツアーに引き続き今回は2度目になります。私の故郷は、北海道旭川の北の農家で生まれ、学校を卒業とともに数年間自宅の農業を手伝っていました。その時に田植え、稲刈り、はさ掛け等色々経験しましたので、稲刈りと聞いてとても懐かしくなり、今回のツアーに参加させて頂きました。



はぜ干し

塩江町は緑の多い私の田舎ととても似ている感じがしました。田んぼで山の自然の風景を見ながらの昼食のおむすびは格別でした。夜になり自分達で収穫した野菜でパーベキューおもしろかったです。その後びわ灸を申し込みましたが、お灸の経験が無いので熱かったらどうしようかと考えてしまい、とても不安でしたが実際に始めて頂いたら段々気持ちが良くなり眠ってしまいそうになりました。そして次の朝もお願いしてしまいました。終わった後は体が軽くなった感じがしました。山菜おこわ作りには参加できませんでしたが、昼食は美味しく頂きました。皆さんとお友達になったりしてとても楽しい2日間でした。最後になりましたが、池田会長さんを始皆様には大変お世話になり有難うございました。また機会が有りましたら是非参加させて頂きたいと思います。これから日一日と寒くなって来ますので健康に気を付けてお過ごしください。(静岡県富士市在住)

事務局よりお知らせ

- 1)平成19年11月内場池湖畔公園に、枝垂れ桜と紅葉を植樹しました。ペンションとまとの赤松さん、藤川牧場主の藤川さんのお陰でしっかり根付いており、記念碑も首都圏・関西圏・地元から参加された皆さんの名前が刻まれキッチンと建っていました。有り難い事です。保守管理して頂いた御礼を申し上げます。
- 2)21年度ふるさと会の会費納入有難う御座いました。会費納入されていない方は、郵便局扱いで、口座記号00150-2:口座番号196649:加入者名:首都圏ふるさと塩江会に会費¥2,500お振込み頂ければ幸いです。
- 3)今年は、関西圏でふるさと会員の加入があり有難う御座いました。引き続き首都・関西等の会員募集を致しております。縁者・関係者のご入会をお願いします。

編集後記

9月に今年2度目の帰省をしました。「行基の湯」の近くの「道の駅」では、地元でとれた新鮮な野菜が朝早くからたくさん陳列されていたので、お土産に買って帰りました。次回の会報は、来年5月を予定しています。ご期待ください。(編集人 矢田敏雄)